

皆沢アカマツ等遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管局・木曽森林管理署
所在地	長野県木曽郡木曽町
面積	9.62 ha
設定年	昭和62年4月1日設定・平成29年4月1日当該保護林へ移行
保護林の概要 (設定目的)	形質の良いアカマツ、サワラ、ウラジロモミ等から構成される天然林の保護・管理を目的とする。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和6年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（立木調査・植生調査）として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測や定点写真の撮影、下層植生の種組成の概要を把握した。 森林概況調査として、調査ルートを設定し、林分の発達段階や病虫害、気象害、鳥獣害の被害状況等を把握した。
結果概要	確認できた影響　[イ（病虫害）] アカマツの大径木の枯死が確認されるなど、松枯れの可能性が示唆されているが、面的な広がりには確認されていない。 アカマツについては今後、巡視等により生育・更新状況に注意が必要である。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

寝覚の床サワラ遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管局・木曽森林管理署
所在地	長野県木曽郡上松町
面積	57.25 ha
設定年	昭和62年4月1日設定・平成29年4月1日当該保護林へ移行
保護林の概要 (設定目的)	サワラ、木曽ヒノキ、コメツガ等から構成される天然林の保護・管理を目的とする。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和6年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（立木調査・植生調査）として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測や定点写真の撮影、下層植生の種組成の概要を把握した。 森林概況調査として、調査ルートを設定し、林分の発達段階や病虫害、気象害、鳥獣害の被害状況等を把握した。
結果概要	確認できた影響　〔 ア（野生鳥獣） 〕 良好な天然の針葉樹林が維持されている。 ニホンジカが群れ単位で生息している可能性があることから、生息動向に注意が必要である。 巡視等による継続的なモニタリングが求められる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

瀬戸川ヒノキ等希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管局・木曽森林管理署
所在地	長野県木曽郡王滝村
面積	2.24 ha
設定年	平成5年4月1日設定・平成29年4月1日当該保護林へ移行
保護林の概要 (設定目的)	阿寺山系の木曽ヒノキを主体とし、コウヤマキ、サワラ、広葉樹等から構成される原生林に近い天然林であり、学術的に価値が高いため、この個体群の保護・管理を目的とする。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和6年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（立木調査・植生調査）として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測や定点写真の撮影、下層植生の種組成の概要を把握した。 森林概況調査として、調査ルートを設定し、林分の発達段階や病虫害、気象害、鳥獣害の被害状況等を把握した。
結果概要	確認できた影響　〔 ア（野生鳥獣） 〕 良好な天然の針葉樹林が維持されている。 森林の階層構造が維持されている。 ニホンジカの可能性のあるフィールドサインが確認されたことから、巡視時に継続的な確認が求められる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

台ヶ峰サワラ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管局・木曽森林管理署
所在地	長野県木曽郡木曽町
面積	7.20 ha
設定年	平成29年4月1日設定
保護林の概要 (設定目的)	サワラの占有率が高く、木曽谷でも特に優れた典型的なサワラ天然林となっていることから、当該個体群の保護・管理を目的とする。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和6年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（立木調査・植生調査）として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測や定点写真の撮影、下層植生の種組成の概要を把握した。 森林概況調査として、調査ルートを設定し、林分の発達段階や病虫害、気象害、鳥獣害の被害状況等を把握した。
結果概要	確認できた影響　[ア（野生鳥獣）] 良好な天然の針葉樹林が維持されている。 ニホンジカの可能性のあるフィールドサインが確認され、ツキノワグマによる剥皮被害の増加が懸念されることから、巡視時に継続的な確認が求められる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

鉢盛山コメツガ等遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管局・木曽森林管理署
所在地	長野県木曽郡木祖村
面積	75.07 ha
設定年	昭和62年4月1日設定・平成29年4月1日当該保護林へ移行
保護林の概要 (設定目的)	鉢盛山近辺のコメツガ、トウヒ、ダケカンバ等から構成される天然林の保護・管理を目的とする。



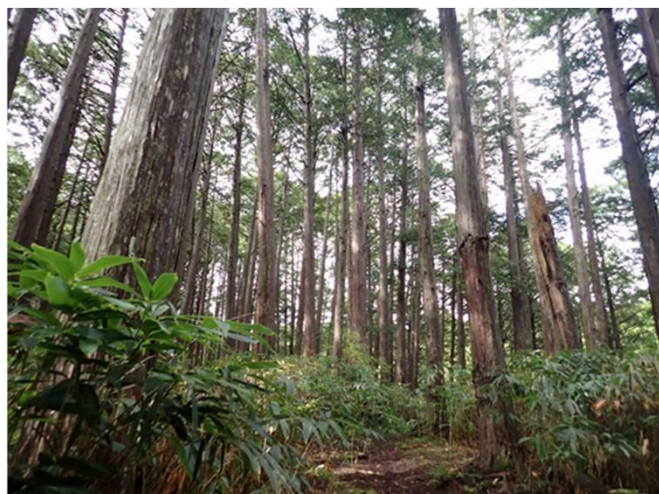
モニタリング調査の概要

実施年度	令和6年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（立木調査・植生調査）として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測や定点写真の撮影、下層植生の種組成の概要を把握した。 森林概況調査として、調査ルートを設定し、林分の発達段階や病虫害、気象害、鳥獣害の被害状況等を把握した。
結果概要	確認できた影響　〔 ア（野生鳥獣） 〕 ギャップが点在している老齢の天然針葉樹林が維持されている。 森林被害は顕在化していないが、ニホンジカの侵入が確認されており、餌場となりうるギャップ地があり、林道を利用して生息地を拡大している状況から、生息動向に注意が必要である。 巡視等による継続的なモニタリングが求められる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

油木沢ヒノキ希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管局・木曽森林管理署
所在地	長野県木曽郡木曽町
面積	48.80 ha
設定年	昭和47年4月1日設定・平成29年4月1日当該保護林へ移行
保護林の概要 (設定目的)	木曽ヒノキ、サワラ、ミズナラ、カンバ等から構成される針広混交林となっており、人為が加わって成林した典型的な木曽ヒノキ個体群の保護・管理を目的とする。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和6年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（立木調査・植生調査）として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測や定点写真の撮影、下層植生の種組成の概要を把握した。 森林概況調査として、調査ルートを設定し、林分の発達段階や病虫害、気象害、鳥獣害の被害状況等を把握した。
結果概要	確認できた影響　〔 ア（野生鳥獣） 〕 良好な天然の針葉樹林が維持されている。 森林の階層構造が維持されている。 森林被害は顕在化していないが、ニホンジカの侵入が確認されていることから、生息動向に注意が必要である。 巡視等による継続的なモニタリングが求められる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。

新高コメツガ等遺伝資源希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管局・木曽森林管理署
所在地	長野県木曽郡木曽町
面積	51.13 ha
設定年	昭和62年4月1日設定・平成29年4月1日当該保護林へ移行
保護林の概要 (設定目的)	コメツガ、シラビソ、オオシラビソの成熟相を呈し、チョウセンゴヨウ、クロベ等の混交する天然林の保護・管理を目的とする。



モニタリング調査の概要

実施年度	令和6年度
調査項目	森林詳細調査、森林概況調査、資料調査、聞き取り調査
調査手法	森林詳細調査（立木調査・植生調査）として調査プロットを2箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測や定点写真の撮影、下層植生の種組成の概要を把握した。 森林概況調査として、調査ルートを設定し、林分の発達段階や病虫害、気象害、鳥獣害の被害状況等を把握した。
結果概要	確認できた影響　[ア（野生鳥獣）] 良好な天然の針葉樹林が維持されている。 ニホンジカの可能性のあるフィールドサインが確認されたことから、巡視時に継続的な確認が求められる。

※モニタリング調査の詳細情報については、森林管理局にお問い合わせください。